

# 踏み跡 <My Mountains>

丹沢	新茅ノ沢遡行	No.165
----	--------	--------

昭和46年4月25日

水が温む季節になると、瀬音を聴きながらの歩きが恋しくなる。

新緑に包まれて空気が美味しい沢登りを思いついた。比較的難度が低い沢でしばらくぶりの体慣らしでもということにして、三年ぶりの新茅ノ沢を選んだ。

水無林道を新萱橋まで登り、橋のたもとから沢に入るとすぐに3mほどのF1に出会う。

F6（新茅の大滝）は落差12m、どうやって通過したか覚えていない。

F9を過ぎるともう堰堤とゴーロになり、核心部は僅かな範囲しかない。

表尾根の烏尾山に飛び出し、しばらくはプロムナード。

混雑を避けるため、塔ノ岳まで行かないで行者ヶ岳から政次郎尾根を下って戸沢出合いへ下りた。

春の風情を感じながら戸沢出合いから大倉までのんびり歩くのも悪くない。

一日中水の流れる音を聞いていたので、夜寝床に入ってから音も聞こえているような感じがした。

以上

